

青少年の被害・非行防止道民総ぐるみ運動 北海道知事メッセージ

北海道の将来を担う青少年が、豊かな人間性を育み、心身ともに健やかに、夢と希望をもって成長していくことは、私たち道民の願いです。

一方、スマートフォンの急速な普及などにより、青少年を取り巻く環境が一層多様化する中、SNSやオンラインゲームなどを利用する時間の増加に伴い、青少年がトラブルに巻き込まれるリスクが高まっています。

トラブルの内容は多岐に渡っており、面識のない被疑者から性犯罪等の被害を受けた児童数が高い水準で推移する中、こどもの性被害等を防止することは喫緊の課題となっています。

また、SNSで犯罪の実行者を募集する、いわゆる「闇バイト」に応募し組織的な特殊詐欺や強盗等に加担することや違法性等を理解せずにオンラインカジノを利用するほか、児童ポルノ事犯等で検挙される少年の増加や大麻をはじめとする薬物の乱用拡大など、青少年の置かれている状況は、被害と非行の両面において深刻なものとなっています。

こうした中、北海道の将来を担う青少年の被害と非行の防止は、家庭や学校、地域社会など、社会全体において道民が一丸となって取り組んでいくことが重要です。

そのため、道では、7月を「青少年の被害・非行防止道民総ぐるみ運動強調月間」とし、市町村や関係機関・団体等の力を結集して、「インターネット利用におけるこどもの性被害等の防止」を最重点課題とし、「有害環境への適切な対応」など7つの重点課題を掲げ、青少年の被害と非行の防止に向けた取組を進めてまいりますので、多くの道民の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

令和8年（2026年）7月

北海道知事 鈴木 直道